

「賀川豊彦のお宝発見」その3

新聞記事にみる賀川豊彦 (43)

1910 (明治43) 年~1963 (昭和38) 年 (神戸版)

第43回 「核実験提訴」「神戸市教育委員再任」

「米国核実験提訴」

1958 (昭和33) 年5月12日「神戸新聞」

賀川氏らと話合い

米核爆発
実験提訴
原告側弁護士
広島へ

【広島】米国の核爆発実験は憲法違反であると米政府を相手どり提訴したライナス・ポーリング博士（ノーベル化学賞受賞者）ら十四人の原告側弁護士A・L・ウイロン氏は広島の関係者と懇談のため十一日午後一時三十二分、広島着、急行「筑紫」で西脇大阪市大助教授とともに来広、駅長室で次のように語った。

私が来日した目的は原告に加わ

っている賀川豊彦氏ら四人をはじめ日本の医学者、科学者、漁業関係者に会って核実験の影響、とくに魚の汚染による損失などの資料を得るためだ。資料は六月からはじまるワシントンの法廷に提出するが、裁判所が米原子力委員会に対し核実験禁止の判決を下すことを願っている。また米国が太平洋で実験することは公海自由の原則に違反

しており、もし米国が特定の区域を設定して実験を続けるなら、ソ連も同様実験をすることは明らかだ。この訴訟は米国だけでなくソ連でも起すよう働きかけているが、英国においても世界的指導者パトランド・ラッセル卿が中心になって行い、またフランス政府が将来核実験を行うなら同様提訴するよう計画を進めている。

「賀川豊彦・神戸市教育委員再任」

1958（昭和33）年

10月3日「神戸新聞」

市川 神学院大 教授を任命

新教育委員

賀川豊彦氏を再任

市川民慈子氏



賀川豊彦氏



市は去年任期満了になった市教育委員（任期四年）の後任に、女性委員を任命することになり、神戸女学院大学教授市川民慈子氏の選任と先月三十日で任期の終わった賀川豊彦教育委員の再任につき市会の意向をきいていたが、このほど了解を得たので一日付で発令した。任期はいずれも四年。

市川民慈子氏略歴 長野県生れ、四十一歳、昭和十五年東京女子医専卒、二十二年阪大副手、二十四年神戸女学院大学講師、二十九年同大学教授
賀川豊彦氏略歴 兵庫県生れ、七

予科修了、四十四年神戸神卒、大正五年米國プリンス大学神学科卒、昭和四年カインヒル大学神学博士、年米國クユウカ大学文学博士、社会党顧問

（2011年4月21日記す。鳥飼慶陽）

賀川氏らと話合い

米核爆発実験提訴 原告側弁護人広島へ

【広島】 米国の核爆発実験は憲法違反であると米政府を相手どり提訴したライナス・ポーリング博士（ノーベル科学賞受賞者）ら十四人の原告側弁護人 A・L・ウイリン氏は広島の実験関係者と懇談のため十一日午後一時三十二分、広島着、急行“筑紫”で西脇大阪市

大助教授とともに来広、駅長室で次のように語った。

私が来日した目的は原告に加わっている賀川豊彦氏ら四人をはじめ日本の医学者、科学者、漁業関係者に会って核実験の影響、とくに魚の汚染による損失などの資料を得るためだ。資料は六月からはじまるワシントンの法廷に提出するが、裁判所が米原子力委員会に対し核実験禁止の判決を下すことを願っている。また米国が太平洋で実験することは公海自由の原則に違反しており、もし米国が特定の区域を設定して実験を続けるなら、ソ連も同様実験をすることは明らかだ。この訴訟は米国だけでなくソ連でも起すよう働きかけているが、英国においても世界的指導者バートランド・ラッセル卿が中心になって行い、またフランス政府が将来核実験を行うなら同様提訴するよう計画を進めている。

市川（神戸女学院大）教授を任命

新教育委員 賀川豊彦氏を再任

市は去年任期満了になった市教育委員（任期四年）の後任に、女性委員を任命することとなり、神戸女学院大学教授市川民慈子氏の選任と先月三十日で任期の終わった賀川豊彦教育委員の再任につき市会の意向をきいていたが、このほど了解を得たので一日付で発令した、任期はいずれも四年。

市川民慈子氏略歴 長野県生れ、四十一歳、昭和十五年東京女子医専卒、二十二年阪大助手、二十四年神戸女学院大学講師、二十九年同大学教授。

賀川豊彦氏略歴 兵庫県生れ、七十歳、明治四十年明治学院神学予科修了、四十四年神戸神学校卒、大正五年米国プリンストン大学神学科卒、昭和四年カナダ、パインヒル大学神学博士、1950年米国クユウカ大学文学博士、現在社会党顧問。